

石碑

住吉御文庫の前には石碑が2基あり、向かって右のものは昭和8年6月、左は平成23年吉日建立とある。来年早々、現在の2基の石碑と並べて、創立300周年記念の石碑を設置する予定。



御文庫（おぶんこ）と呼ばれるこの土蔵造りの建物は、享保八（一七二二）年、書物を納める目的で創建された。施主は大坂を中心に京・江戸の書籍商たちである。この年、大坂の書籍商は排他的同業組合である株仲間の結成を公許されている。これを機に仲間の店が上梓した書籍の成功を祈念して住吉神前に奉納した。それ以降、明治六（一八七三）年の株仲間廃止まで、わずかな中断はあったものの奉納された書物は膨大な数に上る。和漢書籍・洋装本を併せると一万点以上、数万冊に及び、研究者も注目する貴重書も多い。

平成二十三年吉日 大阪書林御文庫講

大阪最古之文庫
向かって左面に「大阪書林御文庫講」、右面に「昭和八年六月 住吉大社文庫貴重図書展覧記念」とあり、裏面に講員、幹事の名前が刻まれている。